

第31回動物臨床医学会年次大会に出展企業として参加しました。

11月20日、グランキューブ大阪（大阪国際展示場）、午前7時。『動物医療業界の活性化に向けて何をなすべきか』というテーマで日本獣医師会会長 山根義久先生の基調講演が始まりました。

その中で、農業と教育は国の根幹であること、獣医師の社会的役割の重要性から獣医学教育の改善・充実が急務であると共に獣医師の処遇を改善する必要があること、適時適切な獣医療を提供する体制整備が必要であることなどについて、わかりやすく述べられていました。

特に、山根会長の次世代を担う若い力に期待する優しいまなざしと人材育成にかける強い決意が感じられ、「努力必報」という結びの言葉が印象に残りました。

11月19－21日の会期中、約2,000人の獣医師と1,000人の獣医療関係者、その他出展企業1200人（展示296ブース）が参加し、獣医療関係者向けの各種セミナー、フォーラム、講演が多数開かれ、盛会裏に終了いたしました。



会場となったグランキューブ大阪



当社出展ブース

本大会には初めての出展となりましたが、狂犬病予防接種、混合ワクチン接種と共にペット医療保険の普及の必要性をPRするとともに、多くの先生方から現在の動物病院を取り巻く様々な実情やペット医療についてのお考えをお伺いすることができ、ペット医療保険の果たすべき役割について再認識する絶好の機会となりました。

今後、伺いました皆様のご意見を参考に、よりわかりやすく、より支持されるペット医療保険目指して社員一同頑張りたいと思います。（報告：下生 純一）